

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	活動に応じて、同法人の施設、園庭を利用し対応しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	法令で必要とされている配置数に加え、子どもの状況に応じて指導員が加わり、活動や個別対応をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	一部トイレや段差、エレベーター未設備等、改善が必要です。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	療育前後に打ち合わせと振り返りを行い、次への取り組みに向けて支援課題と目標を確認しています。毎週の会議で子どもへの対応を検討するなどケース会議行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者向けアンケートを実施。職員全体で内容を確認し業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	平成 29 年度分より公開を実施します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価は実施しておりませんが、今後必要であれば検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	法人内研修の他、外部研修に参加。得た知識を職員全体で共有しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	アセスメントを行い保護者のニーズを聞いたうえで、職員間で検討し児童発達支援管理責任者が計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	標準化されたツールは使用していませんが、保護者との情報共有を日々行い、子どもの状態や状況を把握しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	プログラムの内容を職員で話し合い、立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	子どもの興味、得意、不得意等を配慮し活動を考えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	学校や家庭の状況、その日のメンバーに応じて、時間配分や場所などを決め、一人ひとりの希望とお互いの交流が楽しめるように配慮しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	子どもの状態をその都度確認しながら個別と集団の活動を検討しています。音楽セラピーは環境を整え、安心したかかわりができるように努めています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	療育開始前に打ち合わせや申し送りを行い、情報共有を行います。毎日職員間で動きを図や送迎表で確認し、連携やフォローし合うことをこころがけています。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	療育後に本人の行動、家族、気になることとその対応について、職員間で情報共有を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	個人日誌に記録し、子どもの状況に合わせて支援内容を検討しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年以内に1回のモニタリングを実施。必要に応じて計画の見直しをします。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	対人関係、コミュニケーションの育ちを中心に活動を通して、1人ひとりが自己表現できるように支援しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	サービス担当者会議は担当職員を中心に関係職員で行い、会議記録の回覧で内容を全体で共有しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校の年間行事、月の予定は保護者を通して確認しています。子どもの状況についてはコーディネーターや担任と連絡を取り合い、協力してより良い支援ができるよう関係構築に努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療的ケアの必要な子どもは現在利用者がありません。必要があれば、同法人の看護師を交えて、受け入れや体制について検討します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	契約児童の殆どが同法人の事業所を修了しての利用のため、利用前からの引継ぎや見学を行った。それ以外の児童については保護者の意向を確認の上、連絡を取り合い、情報共有と相互理解に努めていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	同法人の淡路こども園、相談支援事業より、必要な情報提供とスムーズな移行ができるように連絡を取りあっています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	法人全体研修、外部研修への参加を行い、職員の資質向上を目指しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	同法人の児童館子どもの家の児童と活動を共にし、交流する機会を得ています。職員が子ども同士のかかわりの橋渡しを行い、お互いが自己主張する、相手に意思や思いを伝える、相手の思いに気づくなど関係を深めことができるように支援しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	東淀川区自立支援協議会こども部会の定例会に出席、また、他事業所、関係機関と一緒に勉強会、事例検討、研修に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時に添乗職員がデイサービスでの様子を伝え、家庭や学校の様子は連絡帳で確認しています。場合によっては電話連絡を行います。職員間で報告し子どもへの理解、状況、支援課題を共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	新年度説明会、グループ相談等で子ども理解、対応、学校との連携について話し合う機会としています。全体で集まるための日程調整が困難で小グループで実施しています。保護者同士の交流は貴重であ

			るため、今後は日程の確保と頻度を増やしていきたいと検討しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規定、支援内容、利用者負担等について、契約時に丁寧な説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	電話連絡や面談を通して、保護者が育児負担を抱えこまないように相談支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	同法人児童館子どもの家保護者会は任意入会とし、保護者会主催行事、保育園行事や懇談会への参加を呼びかけています。職員は企画や当日の手伝いなど積極的に協力しています。

非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情受付担当者を選任する他、大阪府社会福祉協議会運営適正委員会や各区の福祉サービス担当課とも連携し、苦情受付体制を整えています。いただいた苦情に対しては迅速かつ適切に対応するように心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	法人広報誌や園だよりを発行し、活動内容や行事について発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報の利用に関する同意書をもとに、関係機関との連絡の際に保護者の同意を得たうえで情報提供をするなど、個人情報の管理を徹底しています。また、年度はじめにアンケートによりホームページ、発行機関紙などで写真掲載について写真の大きさなどを含めて確認しています。個人記録ファイルは事務所内の書棚に保管し持ち出し厳禁としています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	子どもへは意思や感情をくみとり、聴く姿勢をもって対応しています。活動や行事は事前に、本人や保護者にお便りや口頭で内容を説明するなど合理的配慮を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	同法人風の子保育園が主催する地域開放の夜店運営に職員が携わり、利用者にも参加を呼びかけています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	各種マニュアルを策定し職員に周知しています。保護者には周知できていないので、閲覧の場所、方法を検討中です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	保育園、ベビーホーム、児童館、デイサービス合同避難訓練を実施しています。日常的に避難経路の確認と環境整備を行っています。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	同法人風の子保育園での虐待防止研修に参加しています。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	保護者と確認しあい対応しています。今後、計画書に記載いたします。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	保護者に個人カードへの記載を依頼。活動時に該当物質の摂取がないように充分注意する。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例が起った際には、報告書を作成、保管し、職員間で共有します。	

実施日 H30年8月